国会・内閣・裁判所

名前

問1　国民主権のもとで立法を担う機関である国会が持つ権限として、著しい非行などがあった裁判官をやめさせるかどうかを判断するために行われるものはどれか。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 条約の締結
2. 条例の制定
3. 弾劾裁判所の設置
4. 最高裁判所長官の指名

問2　日本では、司法に対する国民の理解を深め、信頼を高めることを目的として、くじで選ばれた国民が裁判官とともに審理を行う制度が運用されています。成年年齢の引き下げに伴い、2022年4月からは18歳以上の国民が選ばれる対象となった、この制度の名称を選びなさい。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 裁判員制度
2. 検察審査会
3. 陪審制
4. 日本司法支援センター（法テラス）

問3　日本の裁判所は、最高裁判所を頂点とし、その下に高等裁判所、さらにその下に地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所が配置される階層構造になっています。このように複数の裁判所を設け、第一審から第二審（控訴）、第二審から第三審（上告）へと不服申し立てを認める「三審制」がとられている目的として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 裁判を慎重に行うことで、事実の誤認を防ぎ、国民の人権を保障するため
2. 裁判の回数を増やすことで、弁護士や裁判官の雇用を安定させるため
3. 下級裁判所の判決をすべて最高裁判所で確認し、行政の負担を減らすため
4. 判決が出るまでの期間を長くし、当事者が冷静に話し合う時間を作るため

問4　日本の刑事裁判において、実際には犯罪を行っていない者が無実の罪で有罪判決を受けてしまうことがあります。このような深刻な人権侵害のケースを何と呼びますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 誤認逮捕
2. えん罪
3. 不当労働行為
4. 執行猶予

問5　日本の司法制度において、主権の行使の一環として行われる「国民審査」の説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）

1. 重大な刑事裁判において、国民から選ばれた人が裁判官とともに有罪・無罪や刑罰の内容を決定する仕組み。
2. 検察官が行った不起訴処分の妥当性について、国民から選ばれた審査員が審査を行う仕組み。
3. 衆議院議員総選挙の際に、最高裁判所の裁判官がその職にふさわしいかどうかを国民が直接投票で判断する仕組み。
4. 地方自治体において、特定の重要な事項について住民が直接その賛否を投票によって決定する仕組み。

問6　日本の二院制における衆議院と参議院の選挙の仕組みや任期の違いについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）

1. 衆議院は任期が6年で解散があるが、参議院は任期が4年で解散がないため、参議院の方が選挙の頻度が高くなっている。
2. 衆議院は任期が4年で解散があるため選挙が不規則になるが、参議院は任期が6年で解散がないため3年ごとに規則的に選挙が行われる。
3. 衆議院と参議院はどちらも解散の制度があるが、衆議院は4年、参議院は6年という任期の違いがあるため、選挙の重なりが不規則になる。
4. 衆議院は任期満了のみで選挙が行われるため4年ごとに規則的だが、参議院は解散があるため不規則に選挙が行われる。

問7　日本が採用している議院内閣制の特徴について、アメリカなどで見られる大統領制と比較した説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 行政の首長は、国民による直接投票によって国会議員とは別に選ばれる。
2. 内閣は国会から完全に独立しており、国会が内閣の責任を問う仕組みはない。
3. 内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の指名によって選ばれる。
4. 立法権、行政権、司法権の三権をすべて一つの機関に集中させて効率化を図る。

問8　日本国憲法において、行政権を持つ内閣が行う「条約の締結」の手続きについて、最も適切な説明はどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 内閣が条約を締結する際、最高裁判所による事前の違憲審査を受けなければならない。
2. 条約の締結は国会が行い、内閣はその事務的な署名のみを代行する。
3. 内閣が条約を締結する権限を持つが、事前または事後に必ず国会の承認を得なければならない。
4. 外交関係の処理は内閣の専権事項であるため、国会の承認を得る必要はない。

問9　アメリカの政治制度において、行政の長である大統領が選出される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 最高裁判所の裁判官が、法律の専門家としての見地から、国民の投票結果を参考に大統領を任命する仕組み。
2. 国民が大統領選挙を通じて、連邦議会とは独立した形で、自らの支持を背景に大統領を選出する仕組み。
3. 各州の知事が集まる全米知事会議において、互選によって行政の代表者が決定される仕組み。
4. 連邦議会において、多数派を占める政党の代表者が議会の指名に基づいて大統領に就任する仕組み。

問10　予算の議決や内閣総理大臣の指名において、参議院よりも衆議院の判断が優先される「衆議院の優越」が認められている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）

1. 衆議院は参議院に比べて任期が短く解散もあるため、国民の意志をより密接に反映していると考えられるから。
2. 衆議院には法律案を提出する権限が独占的に与えられており、参議院よりも立法上の役割が大きいから。
3. 衆議院は参議院よりも議員定数が多く設定されており、より多くの国民の声を代表しているから。
4. 衆議院議員の被選挙権が参議院議員よりも低く設定されており、若者の意見を取り入れやすい構造だから。

問11　三権分立の図において、行政権を持つ「内閣」が立法権を持つ「国会」に対して持つ抑制手段のうち、衆議院の意思を国民に改めて問うために行われる行為は何ですか。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 国会が議決した予算案に対し、内閣が拒否権を発動して再議決を求める行為
2. 裁判官の国民審査を行い、不適格な人物を排除する行為
3. 内閣不信任の決議が行われた際などにとられる、衆議院の解散の決定
4. 国会の招集を拒否し、独自に法律を制定する行為

問12　最高裁判所裁判官の国民審査が、衆議院議員総選挙と同時に行われる仕組みになっている理由として、制度の背景をふまえた説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 国民が政治を選択する重要な機会に合わせることで、司法の最高責任者に対する国民の意思表示を確実に行わせるため。
2. 裁判官の任命権を持つ内閣総理大臣を国民が直接選出する機会に合わせ、任命の是非を問う必要があるため。
3. 最高裁判所の裁判官は衆議院議員と同じく任期が4年と定められており、選挙のたびに総入れ替えを行う必要があるため。
4. 地方自治における直接請求の一環として、各選挙区で裁判官の継続雇用を決定する仕組みが導入されているため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 弾劾裁判所の設置	国会は、不適切な行為をした裁判官を辞めさせるかどうかを判断するため、衆議院と参議院の議員からなる弾劾裁判所を設置する権限を持つ。他の選択肢について、最高裁判所長官の指名や条約の締結は内閣の権限であり、条例の制定は地方議会の権限であるため、国会の仕事としては誤りである。
問2	答え 1 裁判員制度	司法をより身近なものにし、国民の感覚を裁判に反映させるために導入されたのが裁判員制度です。この制度は、特定の重大な刑事裁判において、国民が裁判官と一緒に有罪・無罪や刑罰の内容を決定します。2022年の法改正により、選挙権年齢などと合わせる形で、対象が20歳以上から18歳以上に拡大されました。アメリカなどで見られる、裁判官が加わらずに一般市民のみで評決を行う「陪審制」とは仕組みが異なります。
問3	答え 1 裁判を慎重に行うことで、事実の誤認を防ぎ、国民の人権を保障するため	裁判官も人間である以上、判断を誤る可能性はゼロではありません。一度の裁判だけで結果を確定させず、不服がある場合に上級の裁判所で改めて審理を行うことで、誤った判決による不利益を防ぎ、公平で公正な裁判を実現して人権を守ることが、三審制の根本的な目的です。
問4	答え 2 えん罪	無実の人が犯罪者として扱われることは、身体の自由や名誉を著しく損なう重大な人権侵害にあたります。日本の裁判では「疑わしきは被告人の利益に」という原則がありますが、捜査段階での自白の強要や証拠の誤認などが原因で、このような事態が起こることがあります。
問5	答え 3 衆議院議員総選挙の際に、最高裁判所の裁判官がその職にふさわしいかどうかを国民が直接投票で判断する仕組み。	国民審査は、日本国憲法第79条に基づき、最高裁判所の裁判官に対して行われる制度です。衆議院議員総選挙の際、投票者は罷免すべきと思う裁判官の氏名の欄に「×」を記入します。罷免を可とする票が、罷免を可としない票よりも多くなった裁判官は、その職を解かれます。これは司法権の行使に対しても主権者である国民の意思を反映させるための重要な手段です。他の選択肢にある、刑事裁判に参加するものは「裁判員制度」、不起訴処分の審査は「検察審査会」であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 衆議院は任期が4年で解散があるため選挙が不規則になるが、参議院は任期が6年で解散がないため3年ごとに規則的に選挙が行われる。	衆議院議員の任期は4年ですが、解散という制度があるため、実際には任期満了（4年）を待たずに総選挙が行われることが一般的であり、その実施時期は政治判断によって不規則となります。これに対し、参議院議員の任期は6年で解散がなく、3年ごとに定数の半分を入れ替える（改選する）仕組みとなっているため、周期が固定されています。
問7	答え 3 内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の指名によって選ばれる。	議院内閣制では、立法府（国会）と行政府（内閣）が信任関係で結ばれており、国会議員の中から首長が選ばれるのが特徴です。これに対し、大統領制では国民が直接（または選挙人を通じて）大統領を選び、立法府と行政府の独立性がより厳格に保たれています。
問8	答え 3 内閣が条約を締結する権限を持つが、事前または事後に必ず国会の承認を得なければならない。	憲法第73条により、内閣は外交関係を処理し、条約を締結する権限を与えられています。しかし、条約は国内法と同様に国民の生活に影響を及ぼすため、国民の代表機関である国会のコントロールが必要です。そのため、原則として事前、あるいは緊急時には事後に国会の承認を得ることが義務付けられています。
問9	答え 2 国民が大統領選挙を通じて、連邦議会とは独立した形で、自らの支持を背景に大統領を選出する仕組み。	アメリカの大統領制では、立法府である連邦議会が大統領を選ぶのではなく、国民が参加する大統領選挙（大統領選挙人を通じた間接選挙）によって大統領が選ばれます。この仕組みにより、大統領は議会の意向に直接左右されることなく、国民の支持を背景とした強い行政権を行使することができます。日本の議院内閣制のように、議会が政府の首脳を選出する形とは明確に区別されます。
問10	答え 1 衆議院は参議院に比べて任期が短く解散もあるため、国民の意志をより密接に反映していると考えられるから。	衆議院の優越は、民主主義の原則に基づき、より強く国民の意志を反映している議院の判断を尊重するために設けられています。衆議院は任期が4年（参議院は6年）と短く、さらに途中で解散があるため、その時々の国民の意向が選挙結果に反映されやすい性質を持っています。そのため、国の基本方針となる予算や政権の首班指名においては、衆議院の議決を優先させる仕組みになっています。
問11	答え 3 内閣不信任の決議が行われた際などにとられる、衆議院の解散の決定	内閣は国会（特に衆議院）との間に、議院内閣制に基づく密接な抑制・均衡の関係を持っています。国会が内閣を信任できないとして「内閣不信任決議」を可決した場合、内閣は10日以内に総辞職するか、衆議院を解散して国民の信を問う（選挙を行う）必要があります。これにより、行政と立法の間の対立を解決し、均衡を図っています。
問12	答え 1 国民が政治を選択する重要な機会に合わせることで、司法の最高責任者に対する国民の意思表示を確実に行わせるため。	国民審査は、任命された後の最初の衆議院議員総選挙の際、その後は10年を経過した後の最初の衆議院議員総選挙の際に行われます。最高裁判所は「憲法の番人」として強い権限を持つため、最も投票率が高く国民の関心が集まる衆議院議員総選挙に合わせることで、主権者による民主的なチェックを実効的なものにする意図があります。裁判官の任期は定年までであり、衆議院議員のように4年ではありません。